

Q&A

一般質問

市政のそこが聞きたい!

9月定例議会の一般質問は、17名の議員が47項目について行いました。

◆山崎 巨裕 議員

- 公共施設のクールシェアスポット活用について
- 学校給食費の一部補助について

◆黒須 大一郎 議員

- 未来を見据えた社会基盤を(Ⅱ) ○特産品の開発状況は
- 地域部活動推進事業を進めるに当たって

◆加藤 一生 議員

- 南小学校と天使幼稚園の間の道路の車歩道分離化について
- 市のHPに掲載されている「新白岡駅周辺地域におけるエリアマネジメントの推進に関する協定締結」について

◆関口 昌男 議員

- マイナンバー制度の普及状況と様々な課題について
- 人事院勧告と白岡市役所で働く労働者の給与改善について
- 「白岡市パートナーシップ宣誓制度」の制定を歓迎する

◆石渡 征浩 議員

- 行財政改革の進捗状況について
- 令和5年度の予算編成方針について
- 過去の地方創生臨時交付金活用の振り返りと今後の方向感について
- 交通安全対策とそのフィードバックについて

◆中村 匡志 議員

- ウクライナ戦争の影響による肥料高騰をふまえた市内農業の持続可能性について
- いわゆる「農地法上の許可を条件とする売買」について(つづき)
- 長すぎる建築行為による騒音等の被害について
- 市道128号線の改良等について ○教育委員会の情報公開について
- 幼児の自転車乗り場について ○こもれびの森の利便性の改善について
- フォロ・シラオカーノ(foros Shiraokano)の形成に向けて〜グランドデザインのある街づくり(前半)

◆渡辺 聡一郎 議員

- バリアフリーのまちづくりを ○一歩進んだ教育環境づくりを
- 歯科検診の事業縮小について

◆斎藤 信治 議員

- 保育の質の向上を ○電力のひっ迫に対して

◆中山 廣子 議員

- 投票環境向上の取組について ○困難女性支援法について
- 子育て世代に寄り添う取組について

◆中川 幸廣 議員

- 路線バス運行後の状況と「市」としての支援について
- 市内の各小学校や中学校で、土曜日や日曜日に学校開放時に使用する道具や設備について

◆細井 公 議員

- 白岡篠津線の現状について ○白岡駅の駅員不在の問題について

◆菱沼 あゆ美 議員

- 防災の強化について ○降雹被害の支援について
- 高齢者の孤立を防ぐ取組について
- アピアランス(外見)ケアについて

◆遠藤 誠 議員

- 学校におい(教育支援センターは、学校においがするのではないか。)
- 教育機会の多様化について
- 有害な男らしさ(男らしさは男女間格差を助長していないか。)

◆松本 栄一 議員

- 通学路及び生活道路の安全対策について
- 地域部活動推進事業について

◆野々口 真由美 議員

- 行政のDXについて ○情報の届け方と活用について

◆石原 富子 議員

- 介護保険事業計画の見直しについて

◆大島 勉 議員

- 埼玉版スーパー・シティプロジェクトへのエントリーについて

※1人につき2項目までを要約して掲載しています。

問 公共施設にクールシェアスポットを

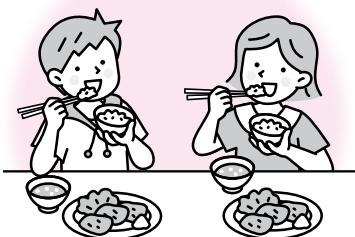
「命にかかわる暑さ、我慢せずエアコンを」というメディアの呼び掛けをよく耳にした。しかし、何らかの事情でエアコンが使えない方々もいる。そうした方々が身近で涼が取れるよう市の公共施設をクールシェアスポットとして活用してはいかがか。

答 クールオアシス登録施設の増加を検討

県では熱中症対策として「まちのクールオアシス」推進事業を行っている。市の公共施設としては、市役所庁舎及びはびすしらおかの2か所を登録している。熱中症対策の一時避難場所として活用していただくとともに、施設の利用について広く周知する。



山崎巨裕 議員
(日本共産党)



問 学校給食の一部補助を来年度も

食材費高騰にもかかわらず、今年度の給食費は値上げせず、高騰部分は市が補助するとのこと。これは、子育てを励ますものであり、市の英断である。物価高騰の先行きは不透明だが、来年度も給食費は値上げせず、食材費高騰部分は市の補助継続を願う。

答 保護者の負担を増やさないように努める

今後も物価の高騰が続いたときには、学校給食費の改定について検討せざるを得ない場合もあると考える。しかし、国の補助金を活用するなどして保護者の負担を増やさないように、質・量ともに維持した給食の提供に努めていく。